InSinkErator®

ディスポーザ

モデル

AC115MK2

取扱説明書

もくじ

● ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。

Part No. 75485 Rev.A (05/09)

安全のために（必ずお読みください）

この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の絵表示で注意を呼びかけています。
その表示と意味は次のようになっています。

警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

この記号は禁止の行為であることを示しています。
中に図がある場合は、具体的な禁止事項を示しています。

この記号は行為を規制したり指示する内容を示しています。
中に図がある場合は、具体的な指示内容が描かれています。

表　示	意　味
	行ってはいけない
	絶対に分解したり、修理、改造は行わない
	必ず実行する
	アース工事がされていることを確認する
	お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く
	水濡れ禁止
	濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

故障したままでディスポーザを使いつづけないでください。

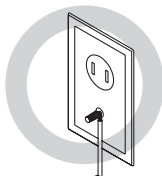
●次のようなときは、電源プラグを抜き、水栓を閉めて給水を止めてください。

●配管や本体から水漏れしている
●異音・異臭がしている
●製品が異常に熱い
●製品にひびや割れが入っている
●製品から煙がでている

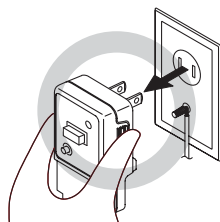
●故障したまま使いつづけると、火災や感電・室内浸水の原因になります。

安全のために（必ずお読みください）

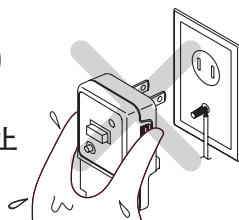
⚠ 警告

アース線接続

● **アース工事がされていることを確認する**
※ アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。

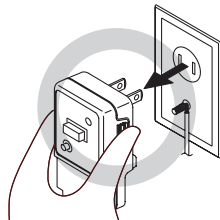
アース工事がされていないと、故障や漏電の時、感電の原因になります。

必ず守る

● **電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く**

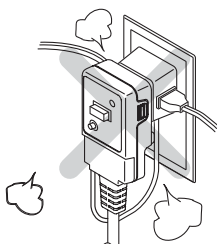
コードを引っ張るとプラグやコードが痛んで、火災や感電の原因になります。

濡れ手禁止

● **濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない**

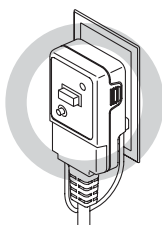
感電の原因になります。

プラグ抜き励行

● **お手入れなどのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く**

感電やけがの原因になります。

必ず守る

● **交流100V定格15A以上のコンセント（専用）を単独で使用する**
※ たこ足配線は、絶対しないでください。

定格を超えると、発熱により火災の原因になります。

必ず守る

● **電源プラグについたホコリなどは、定期的にとりのぞく**
※ ホコリなどは、乾いた布でふきとってください。

火災や感電の原因になります。

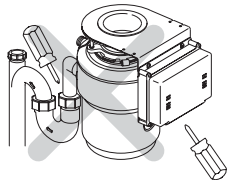
禁止

● **電源コードは、途中で切断したり、接続して延長しない**

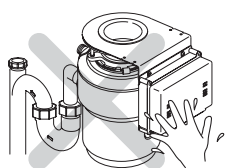
火災や感電の原因になります。

安全のために（必ずお読みください）

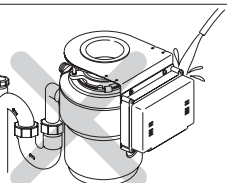
⚠ 警告

分解禁止

● **改造や分解をしない**

故障、火災や感電の原因になります。

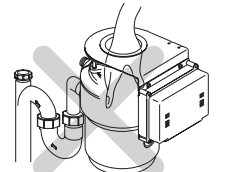
濡れ手禁止

● **濡れた手で、ディスポーザ本体やコントローラには触らない**

感電の原因になります。

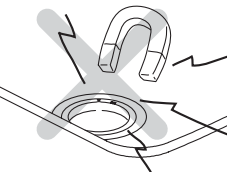
水濡禁止

● **ディスポーザ本体、コード類やコントローラに水をかけたり、洗ったりしない**
※ ホコリなどは、乾いた布で拭き取ってください。

故障、感電の原因になります。

⚠ 注意

禁止

● **ディスポーザの粉砕室に、手などを入れない**

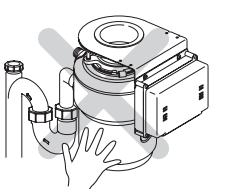
けがの原因になります。

禁止

● **キッチンマグネットなどの、磁石を使用した製品を投入口に近づけない**

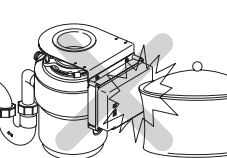
ふたスイッチが収まってないときに、ディスポーザが作動し、けがの原因になります。

禁止

● **子供にディスポーザを操作させない**
※ お子様が近くにいる場合は、特に注意して使用してください。

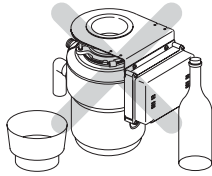
けがの原因になります。

● **ディスポーザの運転中および運転直後に、ディスポーザ本体に触らない**

やけどの原因になります。

禁止

● **キャビネット内にものを収納するときは、ディスポーザに力を加えないようにする**
引き出し式キャビネットの場合は、特に注意する

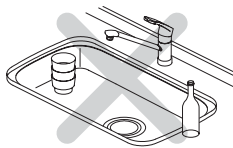
水漏れや排水不良の原因になります。

安全のために（必ずお読みください）

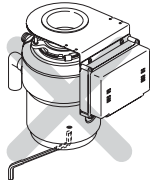
⚠ 注意

必ず守る

●キャビネット内に収納したものが、ディスポーザ本体にあたらないようにする

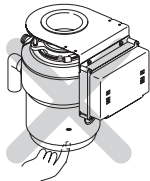
特にびん類や陶磁器などの割れやすいものは、ディスポーザ本体の近くに置かないでください。
割れてけがをしたり、異音や振動の原因になります。

必ず守る

●シンクカウンターの上に不安定なものを置いたまま、ディスポーザを運転しない

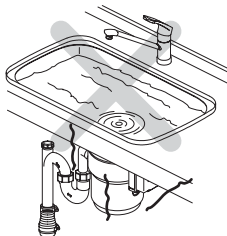
振動で倒れて破損したり、けがの原因になります。

必ず守る

●ディスポーザのかみ込みを解除した後は、必ずサービスレンチを取り除く

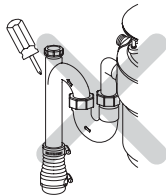
サービスレンチを付けたまま運転すると、けがの原因になります。

禁止

●ディスポーザ本体底面のサービスレンチを入れる穴に、サービスレンチ以外のものを入れない

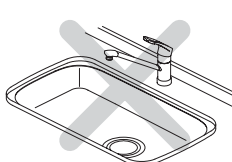
けがの原因になります。

禁止

●ディスポーザの運転中または運転直前に、一度に大量の水を排水しない
※ ディスポーザの運転は、粉砕室内の排水が完全に流れてから、行ってください。

シンクが大きく振動して、シンクカウンターの上のものが倒れて破損したり、けがの原因になります。

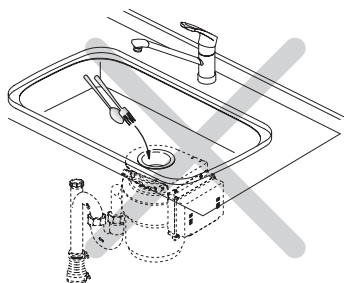
分解禁止

●トラップを分解しない

漏水の原因になります。

必ず守る

●ディスポーザの運転が終了した後、約5秒後に水を止める

水を止めるのが早いと、配管内にごみが残り配管詰まりの原因になります。

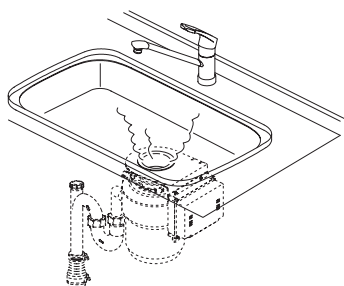
安全のために（必ずお読みください）

⚠注意

必ず守る

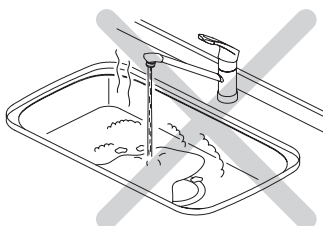
●生ごみ以外は投入しない

故障の原因になります。

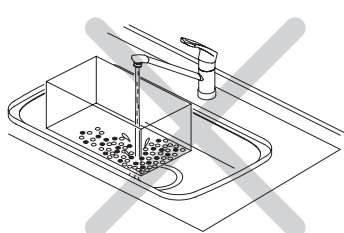
投入物についてのご注意（9ページ）をご参照ください。

必ず守る

●ディスポーザに生ごみを入れたまま、長期間放置しない

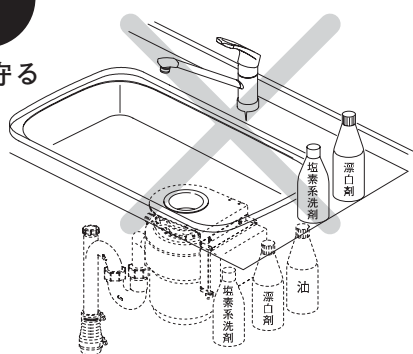
悪臭の発生や排水不良の原因になります。

必ず守る

●60℃以上のお湯を、連続して流し続けない

排水管に変形や劣化が発生し、漏水の原因になります。

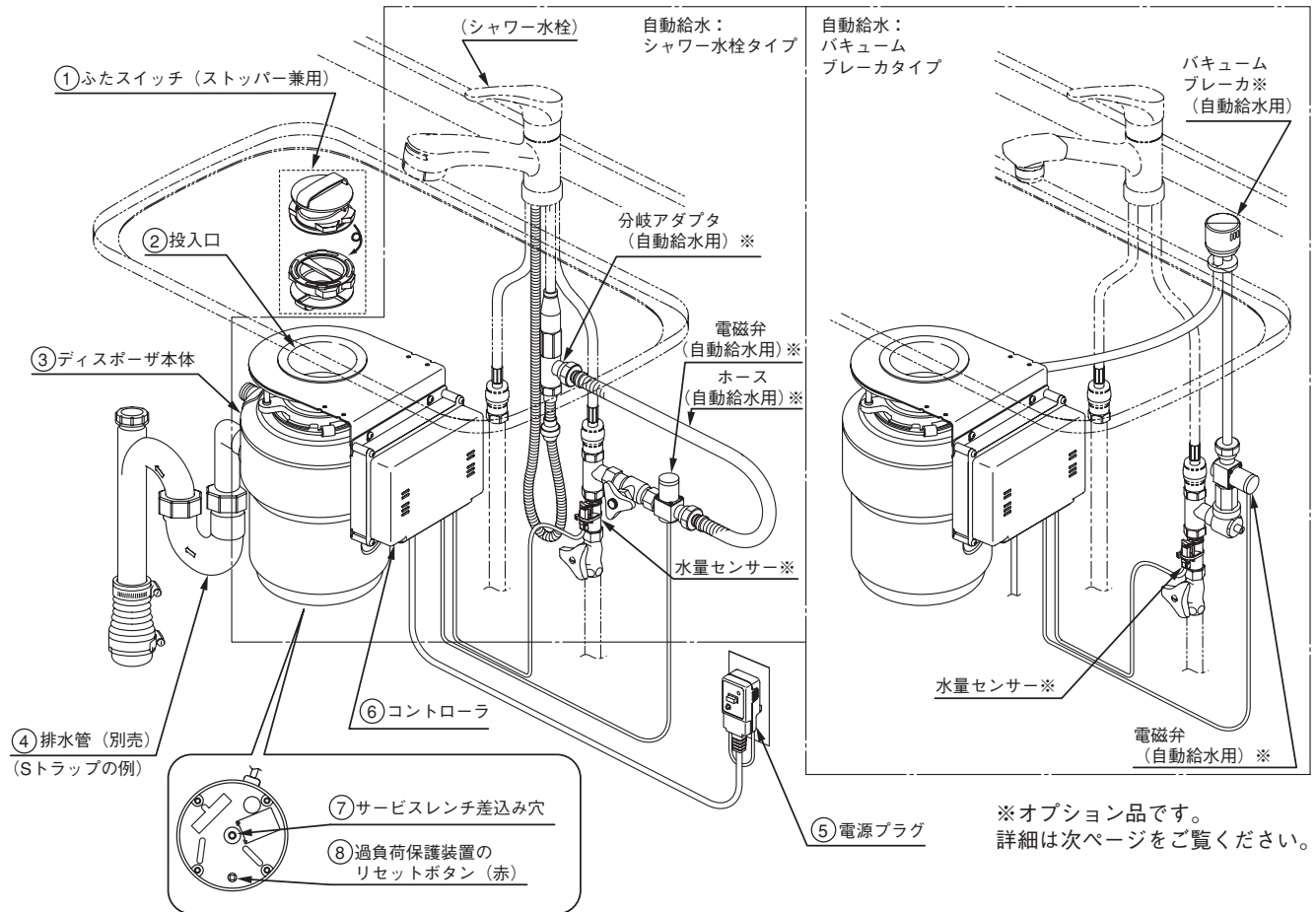
必ず守る

●生き物の水槽のお手入れを、キッチンでしない

水槽の敷石等が、かみ込みの原因になります。

必ず守る

●固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤を使用しない
また、ディスポーザ周辺に保管しない
可燃性のものを、ディスポーザ周辺に保管しない

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムを腐食・劣化させ漏水の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

※「塩素系ヌメリ取り剤」について
塩素系のヌメリ取り剤は水分に反応して塩素系のガスを発生します。このガスはヌメリ取りの効果がありますが、ステンレスなどの金属をさびさせたり、ゴムを劣化させたりします。

■ 各部の名称と機能

① ふたスイッチ（ストッパー兼用）

生ごみ投入後、ふたスイッチを「on」にします。
反転するとストッパーとして、シンク内に水を溜める時にお使いいただけます。

② 投入口

生ごみを投入します。
投入できない生ごみがあります。9ページ参照

③ ディスポーザ本体

生ごみを破砕し、水と一緒に排水管に流します。

④ 排水管

ディスポーザで破砕された生ごみは、排水管を通って下水管に流れます。

⑤ 電源プラグ

コントローラに電源を供給します。
定期的な点検をお奨めします。19ページ参照

⑥ コントローラ

ディスポーザをコントロールします。

⑦ サービスレンチ差し込み穴

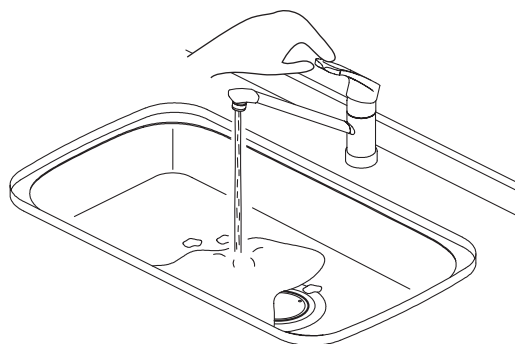
生ごみがディスポーザ内でかみ込みをおこし動かなくなったときは、付属のサービスレンチを差し込んで、かみ込みを解除します。
詳細は22ページ参照

⑧ 過負荷保護装置のリセットボタン

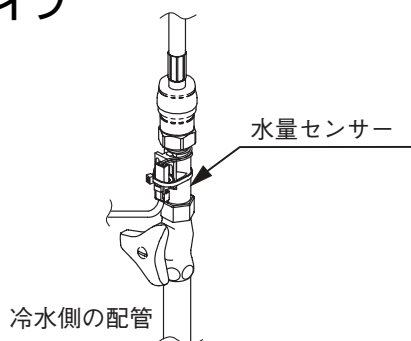
生ごみなどがかみ込んで、過負荷保護装置が作動すると、ディスポーザは停止し、このリセットボタンが飛び出した状態になります。
かみ込みを解除し、リセットしてください。
詳細は23ページ参照

各部の名称

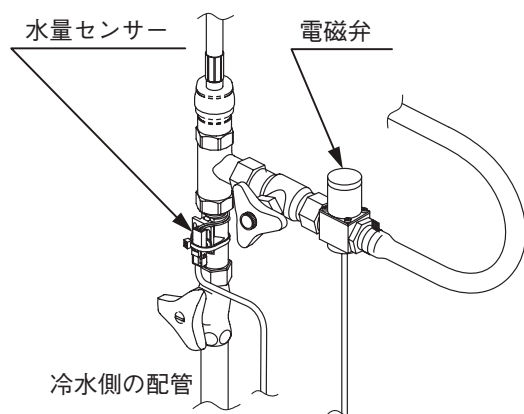
■ 給水方式について

① 手動給水タイプ

オプションが何もついていない標準タイプです。
手動で蛇口を開いて運転します。

手動給水タイプの運転
→ 10 ～ 11 ページ参照

② 手動給水の水量センサー付きタイプ

オプションで、水量センサーが付いたタイプです。
蛇口から出る水の量が毎分約 8 リットルの水量（人差し指の太さ程度）にならないと、ディスポーザが動きません。
これにより配管詰まりなどのトラブルを防ぐことができます。

手動給水の水量センサー付きタイプの運転
→ 12 ～ 13 ページ参照

③ 自動給水タイプ

オプションで水量センサー、電磁弁などが付いたタイプです。
ふたスイッチを「on」にすると自動で水が出て、ディスポーザが止まると自動で水が止まります。
バキュームブレーカタイプとシャワー水栓タイプがあります。

自動給水タイプの運転
→ 14 ～ 15 ページ参照

■ 付属品

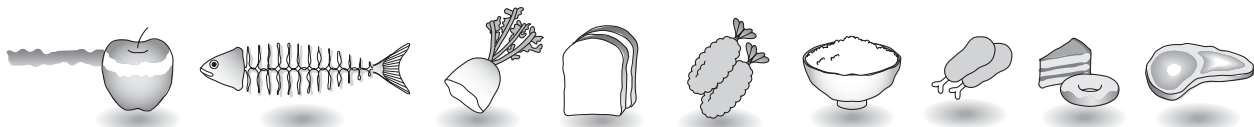
サービスレンチ

ディスポーザのかみ込み解除に使用します。
詳細は22ページ参照

保証書

故障などのお問い合わせ時に必要になります。
本取扱説明書と同じ場所に、大切に保管してください。

投入物についてのご注意

投入してもよいもの

●食品くず●

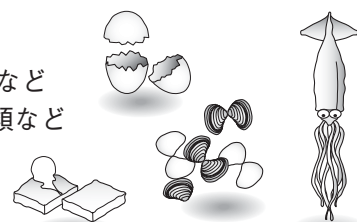
野菜くず、果物くず・御飯、魚肉・いわしなどの小魚の骨、手羽元などの鳥の骨・昆布などの海藻類、肉類、麺類、スープ、パン、菓子、揚げ物、残飯など

※ スイカの皮、メロンの皮、とうもろこしの芯、グレープフルーツの皮などの大きなごみ、厚みのあるごみは、数センチ程度に小さく切って投入すれば、問題なく粉砕できます。

※ 同じ種類のごみだけを投入するより、何種類かのごみを混ぜて投入した方が、粉砕が楽に行われます。

●同種類のごみだけで大量に投入する場合●

※ 少しずつ他のごみと混ぜて投入してください。（同種類のごみだけの大量投入は避けてください）

- 繊維質のもの ············ 枝豆の皮など
- 流れにくいもの ············ 卵の殻、しじみ・あさり等の貝殻など
- 粉砕に時間がかかるもの ···· 生魚の皮や鳥の生皮、イカ・タコ類など
- やわらかくねばりのあるもの ·· ご飯、うどん、もちなど
- 重さが軽く粉砕しにくいもの ·· たまねぎの皮、お茶の葉など

投入してはいけないもの

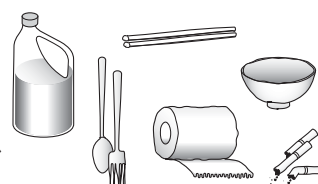
※ 故障・排水管のつまり・処理槽への影響があるもの

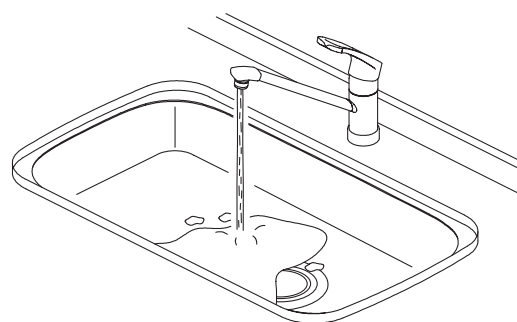
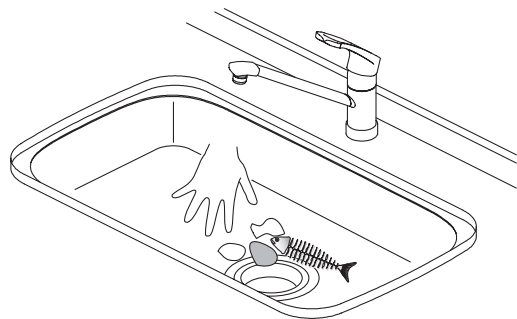
- とても固い骨・殻 ······牛・豚の大骨、サザエ・牡蠣・あわび等の大きな貝殻、大きなカニの殻など
- 特に硬い繊維質のもの ··とうもろこしの皮、たけのこの皮など
- 大量の熱湯、大量の熱い食品など、高温の湯はディスポーザをいためますので冷ましてから投入してください。

絶対に投入してはいけないもの

食器洗い等に普通に使用される量の洗剤、鍋などに付着している程度の油は問題ありません

※ 食品くず以外のもの

■ 油類················· 多量のサラダ油、大量のてんぷら油など
■ 薬品類··············· 多量の洗剤、多量の薬品、溶剤（シンナー）など
■ 食品くず以外のもの··· 金属・プラスチック・ガラス・陶器・紙・木類、輪ゴム、ビニール袋、キッチンペーパー、タバコの吸い殻など

運転のしかた

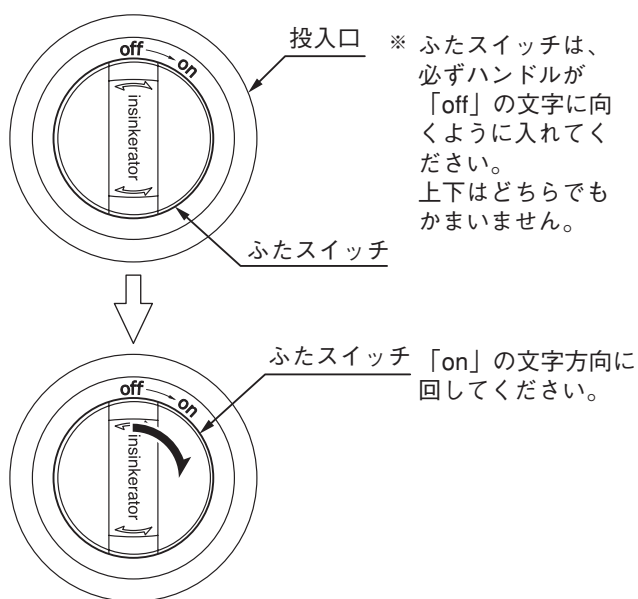
■ 手動給水タイプの運転

① ディスポーザに生ごみを入れてください

- ディスポーザに投入してはいけないものがあります。
  投入物についてのご注意をよく読んでからご使用ください。（9ページ参照）

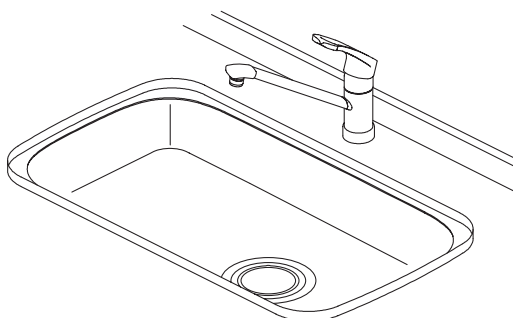
② 蛇口を開けて、水を流してください

- 人差し指の太さ程度（毎分約８リットル）の水を流してください。
- 給水量が少ないと、配管内に生ごみが残り、配管詰まりの原因になります。

⚠ 注意

必ずディスポーザの運転を開始する前に、水を流してください。

③ 投入口にふたスイッチを入れ、「on」にすると、ディスポーザが運転を開始します

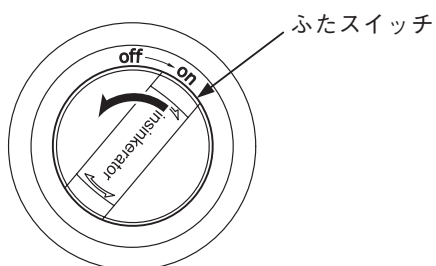
- ふたスイッチは、「on」の文字方向に回してください。
- 「ピッ」とお知らせ音が鳴って、ディスポーザが運転を開始します。
- ディスポーザは、運転・停止をくりかえす断続運転を行います。

運転のしかた

※ ディスポーザ内に生ごみが残っていたら、再度運転してください。

④ ディスポーザが自動停止し、「ピッピッ」とお知らせ音が鳴ったら蛇口を閉め、水を止めてください

- ディスポーザは、約55秒の運転の後に自動停止します。
- 自動停止の後、約5秒後に「ピッピッ」とお知らせ音が鳴ります。

⚠ 注意

ディスポーザの回転が完全に停止するまで、ディスポーザ内に掃除用のブラシなどを入れないでください。けがの原因になります。

⑤ ふたスイッチを「off」にしてください

- ふたスイッチは、「off」の文字方向に回してください。

生ごみの処理が早めに終了した場合は、ふたスイッチを「off」にして途中でとめることもできます。運転を強制的に終了すると、「ピッピッピッ .....(5秒間)」と警告音が鳴ります。強制終了後も、約5秒間水を流してから蛇口を閉め、水を止めてください。

運転のしかた

■ 手動給水の水量センサー付きタイプの運転

水量センサー付きタイプは、毎分約８リットル以上の水量にならないと、ディスポーザは動きません。
水量センサーは、冷水側に取り付けてあります。必ずお湯ではなく水を流してください。

① ディスポーザに生ごみを入れてください

● ディスポーザに投入してはいけないものがあります。
投入物についてのご注意をよく読んでからご使用ください。（９ページ参照）

② 蛇口を開けて、水を流してください

● 人差し指の太さ程度（毎分約８リットル）の水を流してください。
● 給水量が少ないと、配管内に生ごみが残り、配管詰まりの原因になります。

⚠ 注意

必ずディスポーザの運転を開始する前に、水を流してください。

③ 投入口にふたスイッチを入れ、「on」にすると、ディスポーザが運転を開始します

● ふたスイッチは、「on」の文字方向に回してください。
● 「ピッ」とお知らせ音が鳴って、ディスポーザが運転を開始します。

※ ディスポーザ内に生ごみが残っていたら、再度運転してください。

④ ディスポーザが自動停止し、「ピッピッ」とお知らせ音が鳴ったら蛇口を閉め、水を止めてください

- ディスポーザは、約55秒の運転の後に自動停止します。
- 自動停止の後、約5秒後に「ピッピッ」とお知らせ音が鳴ります。

⚠ 注意

ディスポーザの回転が完全に停止するまで、ディスポーザ内に掃除用のブラシなどを入れないでください。けがの原因になります。

⑤ ふたスイッチを「off」にしてください

- ふたスイッチは、「off」の文字方向に回してください。

生ごみの処理が早めに終了した場合は、ふたスイッチを「off」にして途中でとめることもできます。運転を強制的に終了すると、「ピッピッピッ.....(5秒間)」と警告音が鳴ります。強制終了後も、約5秒間水を流してから蛇口を閉め、水を止めてください。

警告音に対する処置

- 運転開始時に給水量（毎分8リットル）を下回ると「ピッピッピッ.....(10秒間)」と警告音が鳴り、運転を開始しません。10秒以内に給水量を増やすと警告音が止まり、運転を開始します。
- 何らかの理由で、蛇口からの水量が不足した場合は、ディスポーザの運転が途中で止まり「ピッピッピッ.....(10秒間)」と警告音が鳴ります。10秒以内に蛇口を開いて水量を増やせば自動で運転状態に復帰します。10秒以上たってしまったら完全に停止しますので、最初から操作し直してください。

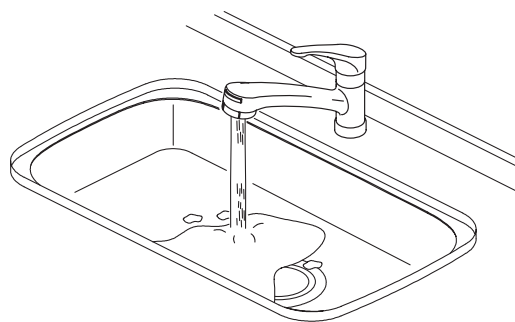
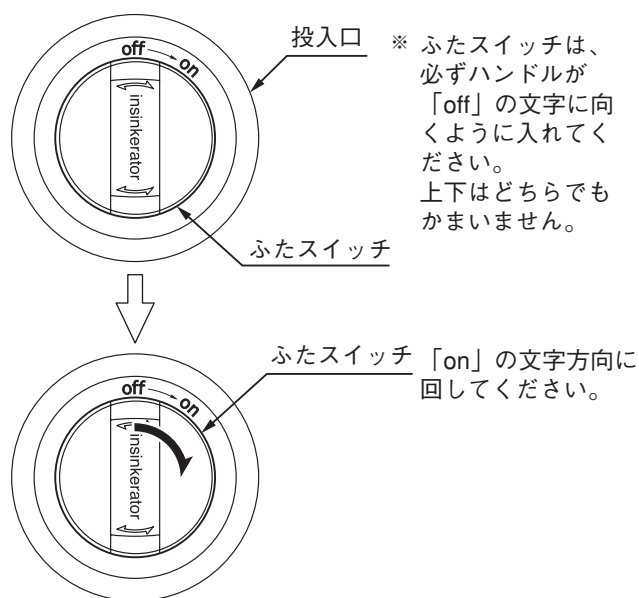
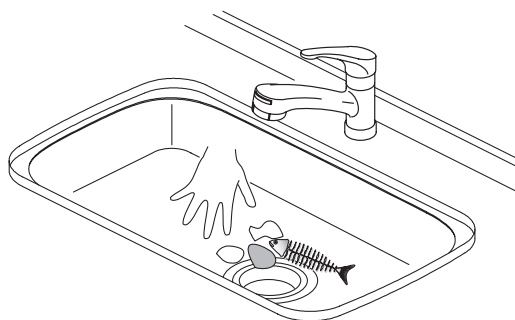
運転のしかた

■ 自動給水タイプの運転（バキュームブレーカタイプ、シャワー水栓タイプ）

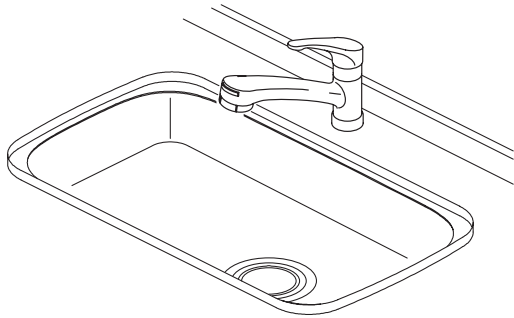
① ディスポーザに生ごみを入れてください

● ディスポーザに投入してはいけないものがあります。
投入物についてのご注意をよく読んでからご使用ください。（9 ページ参照）。

② 投入口にふたスイッチを入れ、「on」にしてください

● ふたスイッチは、「on」の文字方向に回してください。

※図は、シャワー水栓タイプの場合です。
※バキュームブレーカタイプは、ディスポーザ内に直接水が流れます。

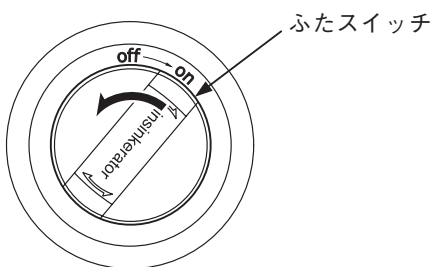
③ 「ピッ」とお知らせ音が鳴り、自動で水が流れ、少し遅れてディスポーザが運転を開始します

●バキュームブレーカタイプ：
自動でディスポーザ内に水が流れます。
●シャワー水栓タイプ
自動でシャワー水栓から水が流れます。

※ ディスポーザ内に生ごみが残っていたら、再度運転してください。

④ ディスポーザが自動停止した後、自動で水が止まります

- ディスポーザは、約55秒後に自動停止します。
- 自動停止の後、約5秒後に「ピッピッ」とお知らせ音が鳴ってから、自動で水が止まります。

⚠ 注意

ディスポーザの回転が完全に停止するまで、ディスポーザ内に掃除用のブラシなどを入れないでください。けがの原因になります。

⑤ ふたスイッチを「off」にしてください

- ふたスイッチは、「off」の文字方向に回してください。

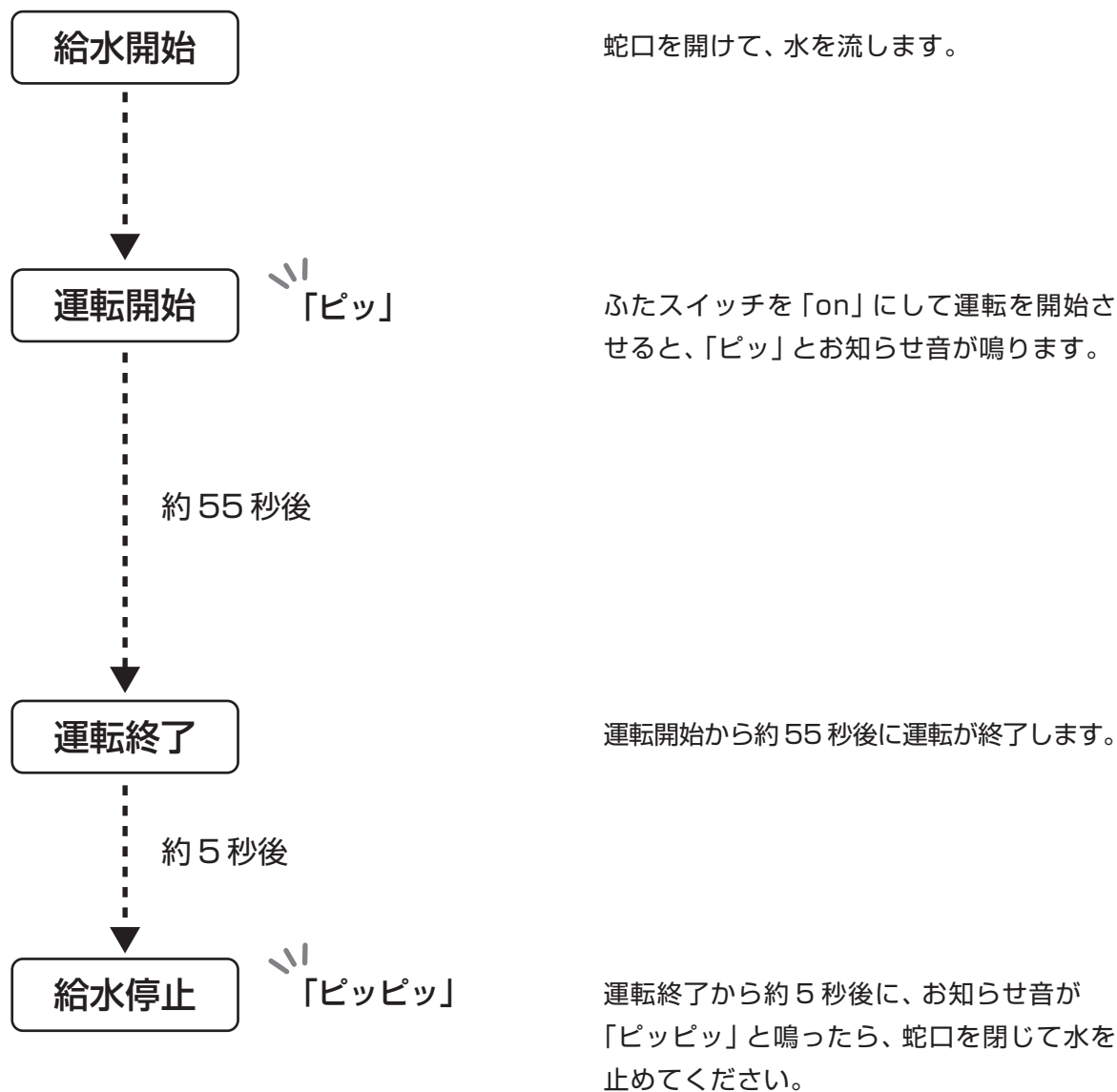
生ごみの処理が早めに終了した場合は、ふたスイッチを「off」にして途中で止めることもできます。運転を強制的に終了すると「ピッピッピッ .....(5秒間)」と警告音が鳴ります。

※ ふたスイッチを「off」にすると、ディスポーザが停止し、約5秒後に自動で水が止まります。

警告音に対する処置

何らかの理由で、水量が不足した場合は、ディスポーザの運転が止まり、「ピッピッピッ .....(10秒間)」と警告音が鳴り、10秒後に水も止まります。
その場合は、蛇口レバーを操作して正常に水がでるかどうか確認してください。
また、シンク内の止水栓が十分に開いているか確認してください。
正常に水が出る場合は、最初から操作し直してください。
水が十分に出ない場合は、水圧不足などが考えられます。販売店にご相談ください。

運転時の報知音について

■ 手動給水タイプの場合

蛇口を開けて、水を流します。

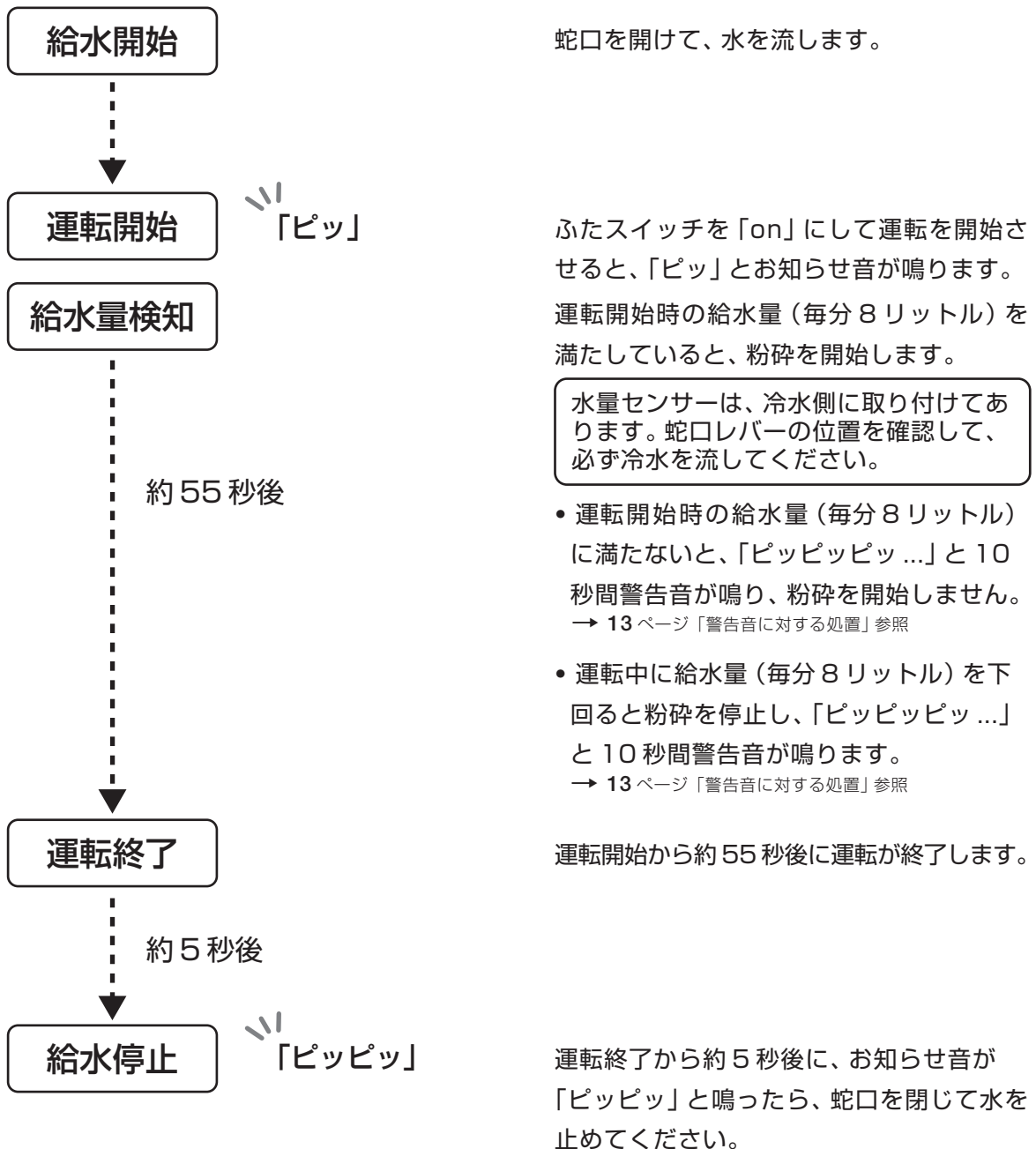
ふたスイッチを「on」にして運転を開始させると、「ピッ」とお知らせ音が鳴ります。

運転開始から約 55 秒後に運転が終了します。

運転終了から約 5 秒後に、お知らせ音が「ピッピッ」と鳴ったら、蛇口を閉じて水を止めてください。

※運転中にふたスイッチを「off」にして、運転を強制的に終了させると、「ピッピッピッ…（5 秒間）」と警告音が鳴ります。
（強制終了後も 5 秒間水を流してください。そのまま放置しますと、排水不良の原因になります。）

運転時の報知音について

■ 手動給水の水量センサー付きタイプの場合

蛇口を開けて、水を流します。

ふたスイッチを「on」にして運転を開始させると、「ピッ」とお知らせ音が鳴ります。

運転開始時の給水量（毎分 8 リットル）を満たしていると、粉砕を開始します。

水量センサーは、冷水側に取り付けてあります。蛇口レバーの位置を確認して、必ず冷水を流してください。

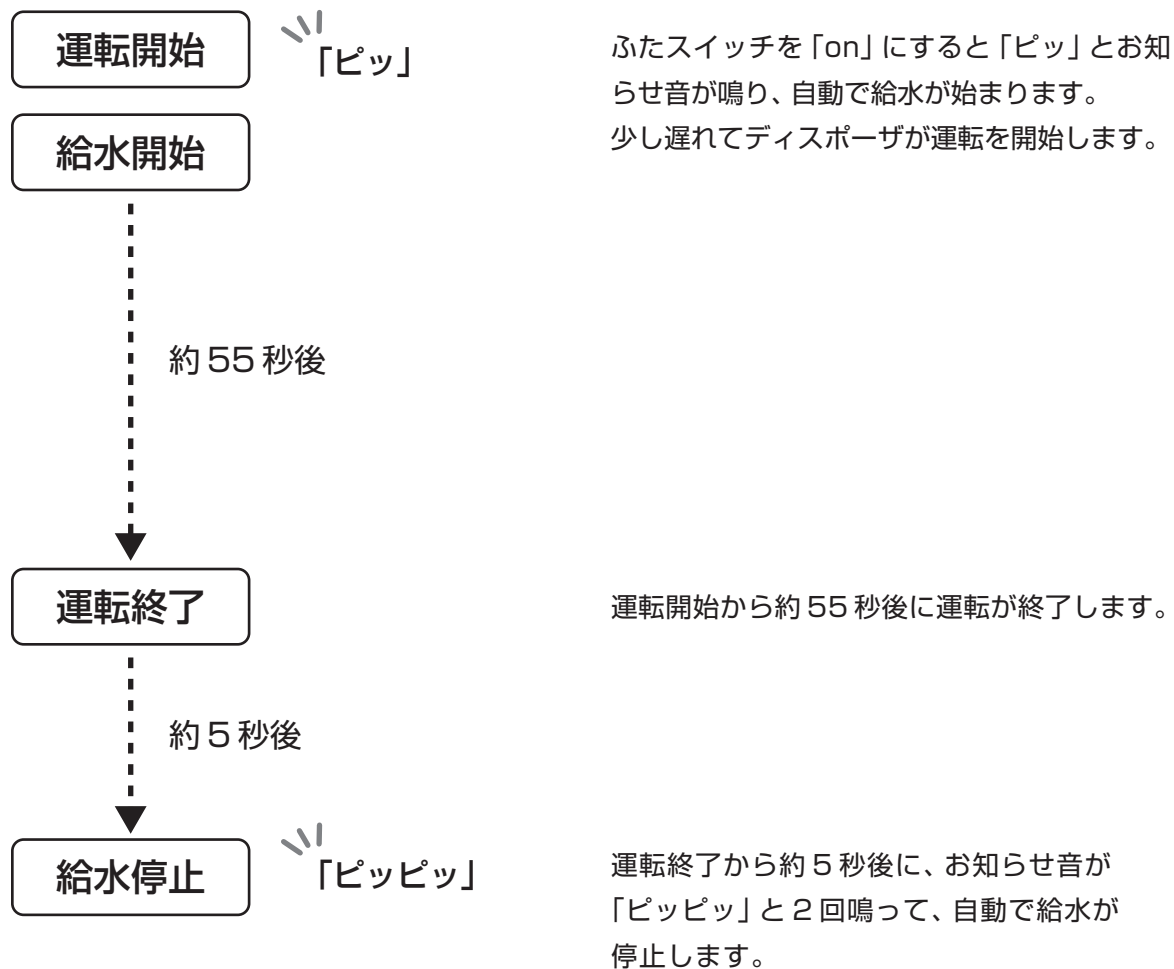
- 運転開始時の給水量（毎分 8 リットル）に満たないと、「ピッピッピッ ...」と 10 秒間警告音が鳴り、粉砕を開始しません。
  → 13 ページ「警告音に対する処置」参照
- 運転中に給水量（毎分 8 リットル）を下回ると粉砕を停止し、「ピッピッピッ ...」と 10 秒間警告音が鳴ります。
  → 13 ページ「警告音に対する処置」参照

運転開始から約 55 秒後に運転が終了します。

運転終了から約 5 秒後に、お知らせ音が「ピッピッ」と鳴ったら、蛇口を閉じて水を止めてください。

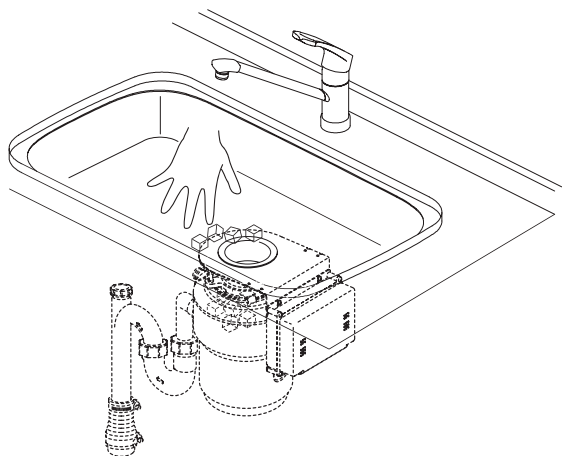
※運転中にふたスイッチを「off」にして、運転を強制的に終了させると、「ピッピッピッ…（5 秒間）」と警告音が鳴ります。
（強制終了後も 5 秒間水を流してください。そのまま放置しますと、排水不良の原因になります。）

運転時の報知音について

■ 自動給水タイプの場合

※何らかの理由により、蛇口からの水量が不足した場合は、「ピッピッピッ ....」と警告音が 10 秒間続き、自動的に運転が終了します。

→ 15 ページ「警告音に対する処置」参照

ディスポーザのお手入れ・点検

■ におい、ぬめりが気になるときのお手入れ

- ぬめりが気になる場合は、氷（キューブアイス数個程度）を投入してから、運転をしてください。
- においが気になる場合は、中性洗剤を少量またはレモンやみかんの皮を投入してから、運転をしてください。

手動給水タイプの運転
→ 10 〜 11 ページ参照

手動給水の水量センサー付きタイプの運転
→ 12 〜 13 ページ参照

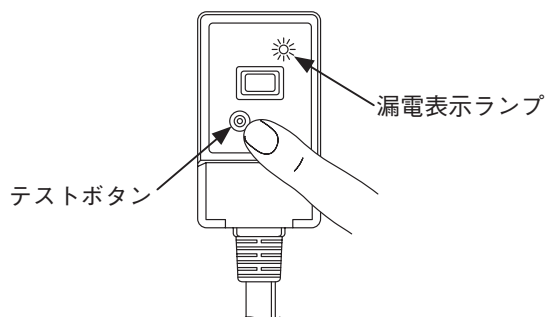
自動給水タイプの運転
→ 14 〜 15 ページ参照

商品名：ディスポーザ ケア

においが気になる場合は、上記方法のほかに、ディスポーザ専用洗剤を使うお手入れ方法もあります。

商品のお問い合わせ先
日本エマソン株式会社 InSinkErator 事業部
TEL : 0120-530-473
URL : http://www.insinkerator.jp

■ 電源プラグの点検

電源プラグは、月1回程度の点検をおすすめします。

① 電源プラグのテストボタンを押してください

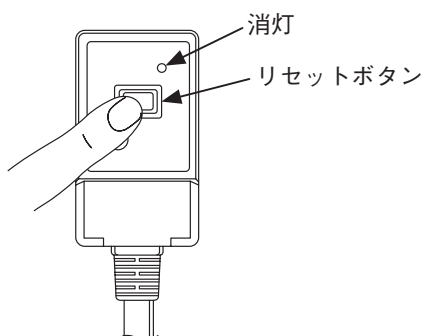
- 漏電表示ランプが点灯することを確認してください。

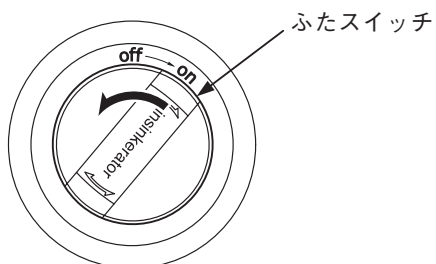
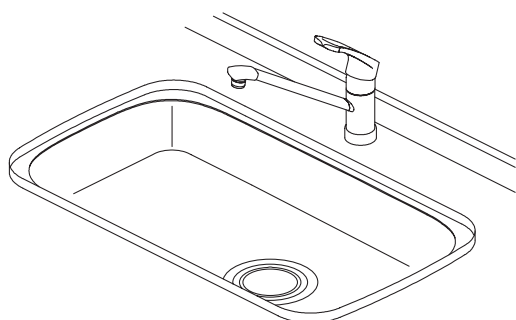
⚠ 注意

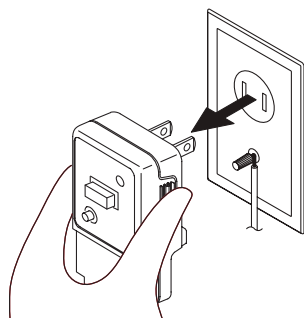
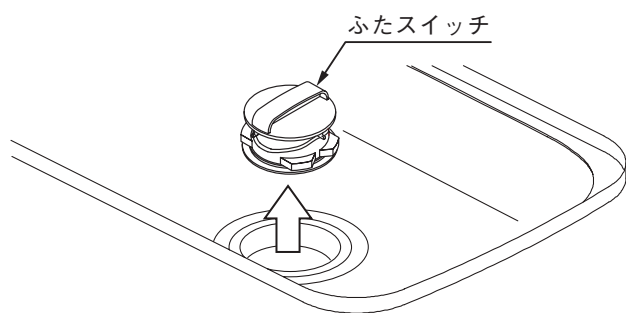
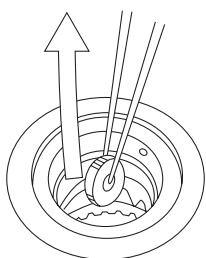
濡れた手で、ボタン操作をしないでください。
感電の原因になります。

② 電源プラグのリセットボタンを押してください

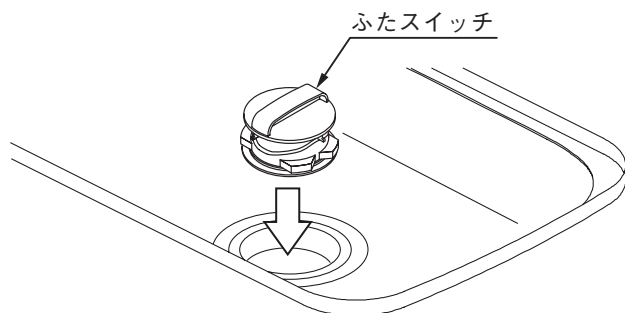
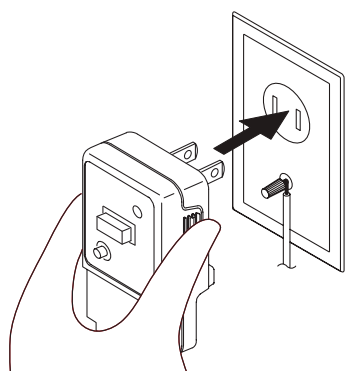
- 漏電表示ランプが消灯することを確認してください。

※リセットボタンを押しても消灯しない場合は、漏電が考えられます。販売店か、巻末のお問い合わせ先に御連絡ください。

ディスポーザに異物を落としたとき

ディスポーザの中に誤って異物を落とした場合は、下記の要領で取り出してください。

① ふたスイッチを「off」にして、運転を停止してください

② 蛇口を閉じて水を止めてください

● 自動給水タイプの場合は、約５秒後に自動で水が止まります。③に進んでください。

③ 電源プラグをコンセントから抜いてください

④ ふたスイッチを上に引き抜いて取り外してください

※ 菜箸などで、
取り除きます。

⑤ 中に入った異物を取り出してください

ディスポーザに異物を落としたとき

⑥ **ふたスイッチを「off」の位置に取り付けてください**

⑦ **電源プラグをコンセントに差し込んで、再度運転してください**

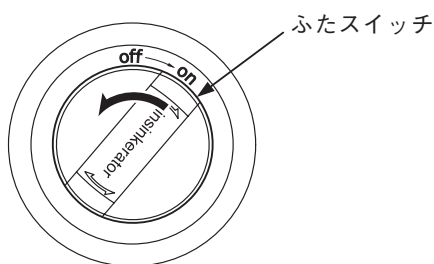
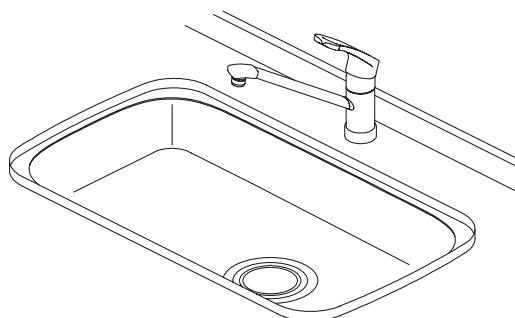
● ディスポーザが正常に運転することを確認してください。

手動給水タイプの運転
→ 10 ～ 11 ページ参照

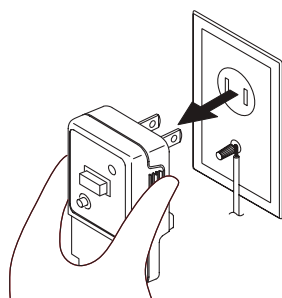
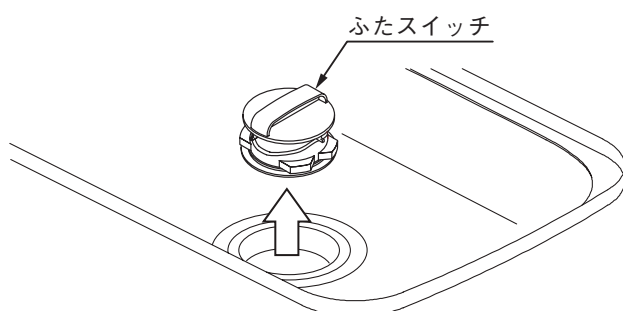
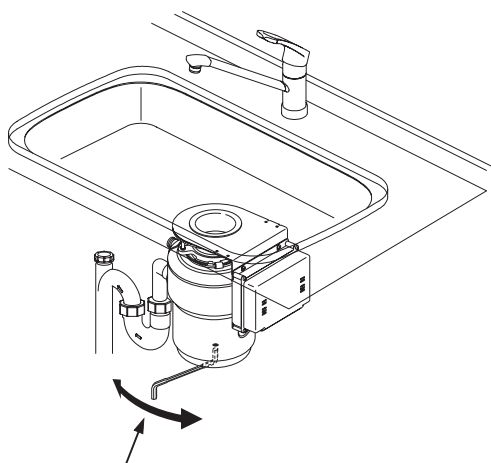
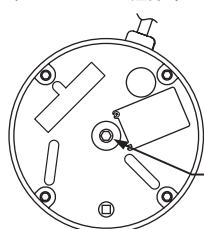
手動給水の水量センサー付きタイプの運転
→ 12 ～ 13 ページ参照

自動給水タイプの運転
→ 14 ～ 15 ページ参照

かみ込みなどで異常停止したとき

ディスポーザが運転途中で停止した場合、またはディスポーザ内に生ごみが大量に残っていて、再度運転しても動かない場合は、かみ込みやモーターの過熱で安全装置が働いて、停止してしまったことが考えられます。
以下の要領で復帰させてください。

① **ふたスイッチを「off」にしてください**

② **蛇口を閉じて水を止めてください**

● 自動給水タイプの場合は、約５秒後に自動で水が止まります。③に進んでください。

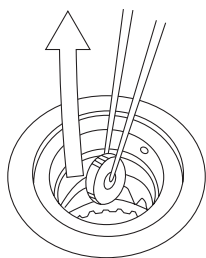
かみ込みなどで異常停止したとき

③ 電源プラグをコンセントから抜いてください

④ ふたスイッチを上に引き抜いて取り外してください

⑤ サービスレンチでかみ込みを外します

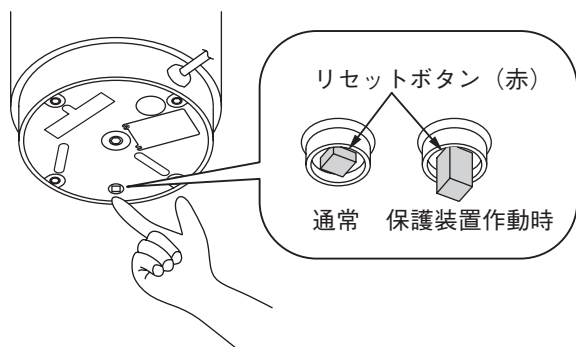
- 付属のサービスレンチをディスポーザ底面の、サービスレンチ差し込み穴に差し込み、左右に数回、軽くなるまで回してください。
- サービスレンチが最初から軽く回る場合は、発熱による停止が考えられます。
  発熱の場合は、⑦に進んでください。

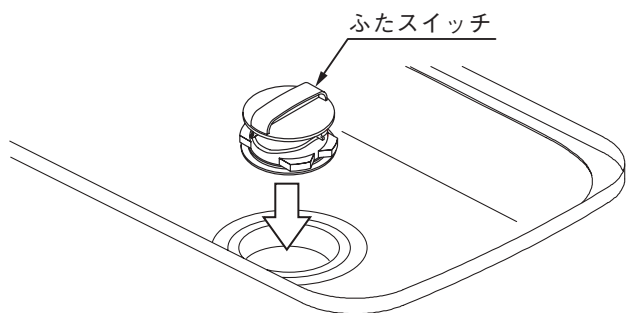
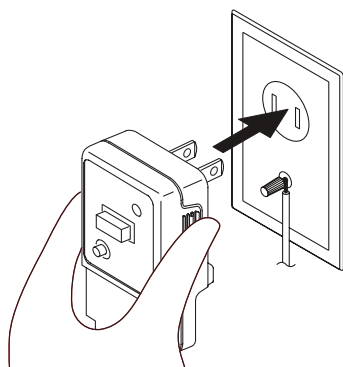
⚠ 注意

停止直後は、モーターが過熱している場合がありますのでご注意ください。やけどの恐れがあります。

⚠ 注意

かみ込み解除後は、必ずサービスレンチを取り外してください。けがの原因になります。

※ 菜箸などで、
取り除きます。

⑥ かみ込んだ異物を取り出してください

⑦ 過負荷保護装置のリセットボタンを押します

- 確実に押し込み、通常状態に戻ったことを確認してください。
- 過熱による停止の場合は、モーターの熱を十分に冷ましてから、ボタンを押してください。

⑧ ふたスイッチを「off」の位置に取り付けてください

⑨ 電源プラグをコンセントに差し込んで、再度運転してください

- ディスポーザが正常に運転することを確認してください。

手動給水タイプの運転
→ 10 ～ 11 ページ参照

手動給水の水量センサー付きタイプの運転
→ 12 ～ 13 ページ参照

自動給水タイプの運転
→ 14 ～ 15 ページ参照

故障かな?!と思ったら

修理を依頼される前に、まずこの章をご覧になり、処置をお試しください。
それでも直らないときは、販売店にご相談ください。

手動給水タイプの場合

症　状	チェック内容	処　置
ディスポーザが動かない。あるいはすぐに止まる	異物をかみ込んでいるか、モーターの過熱で過負荷保護装置が作動していませんか?	異物を取り除いて過負荷保護装置のリセットボタンを押してください。 ➡ 21 ～ 23 ページ参照
	停電していませんか?	停電解除までお待ちください。
	電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグを専用コンセントに差し込んでください。
	電源プラグの漏電表示ランプが点灯していませんか?	電源プラグのリセットボタンを押してください。 ➡ 19 ページ参照
	生ごみを詰め込みすぎていませんか?	生ごみを小分けにして処理してください。
運転中、音や振動が大きい。	スプーン、つまようじ、ねじ、プラスチック片などの異物が混入していませんか?	異物を取り除いてください。 ➡ 20 ～ 21 ページ参照
	回転板上のハンマーに何かが挟まって固着していませんか?	固着している原因を取り除き、自由に360度回転することを確認してください。
	シンクに水をはった状態で、流しながら運転していませんか?	異常振動を起こし、故障の原因になりますので、シンク内の水を流してから運転してください。
生ごみが粉砕されずに残る。	粉砕できない生ごみまたは粉砕に時間のかかる生ごみが投入されていませんか?	もう一度運転しても、ディスポーザ内に生ごみが残る場合は、異物として取り除いてください。 ➡ 20 ～ 21 ページ参照
投入口から水があふれる。	ディスポーザ内に生ごみがたまっていませんか?	粉砕運転を行い、生ごみを処理してください。 ➡ 10 ～ 11 ページ参照
	ディスポーザ内に生ごみがたまっていない場合は、排水管部（排水トラップ）が詰まっていませんか?	市販の台所用ラバーカップ、または真空式パイプクリーナーを試してみるか、お買い上げの販売店にご相談ください。
水漏れする。	水漏れ箇所はディスポーザ本体、あるいは排水管部ですか?	お買い上げの販売店にご相談ください。
電源プラグの漏電表示ランプが頻繁に点灯して切れる。あるいは、電源ブレーカーが頻繁に切れる。	漏電している可能性がありますので、ブレーカーを切った状態でお買い上げの販売店にすぐに検査を依頼してください。	

故障かな?!と思ったら

手動給水の水量センサー付きタイプの場合

症　状	チェック内容	処　置
ディスポーザが動かない。あるいはすぐに止まる	異物をかみ込んでいるか、モーターの過熱で過負荷保護装置が作動していませんか?	異物を取り除いて、過負荷保護装置のリセットボタンを押してください。➡ 21～23ページ参照
	停電していませんか?	停電解除までお待ちください。
	電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグを専用コンセントに差し込んでください。
	電源プラグの漏電表示ランプが点灯していませんか?	電源プラグのリセットボタンを押してください。➡ 19ページ参照
	蛇口が十分に開いてますか?	蛇口の開度を大きくして、給水量を毎分8リットル以上にしてください。
	蛇口レバーがお湯側になっていませんか?	給湯側では水量センサーが作動しないため、冷水側で水を流してください。
	他の場所で水を多量に使用していませんか?	他の場所での多量の水の使用が終了するまでお待ちください。
	給水管の止水栓が閉まっていませんか?	給水管の止水栓を開けてください。
	断水していませんか?	断水解除までお待ちください。
	生ごみを詰め込みすぎていませんか?	生ごみを小分けにして処理してください。
運転中、音や振動が大きい。	スプーン、つまようじ、ねじ、プラスチック片などの異物が混入していませんか?	異物を取り除いてください。➡ 20～21ページ参照
	回転板上のハンマーに何かが挟まって固着していませんか?	固着している原因を取り除き、自由に360度回転することを確認してください。
	シンクに水をはった状態で、流しながら運転していませんか?	異常振動を起こし、故障の原因になりますので、シンク内の水を流してから運転してください。
生ごみが粉砕されずに残る。	粉砕できない生ごみまたは粉砕に時間のかかる生ごみが投入されていませんか?	もう一度運転しても、ディスポーザ内に生ごみが残る場合は、異物として取り除いてください。➡ 20～21ページ参照
投入口から水があふれる。	ディスポーザ内に生ごみがたまっていませんか?	粉砕運転を行い、生ごみを処理してください。➡ 12～13ページ参照
	ディスポーザ内に生ごみがたまっていない場合は、排水管部（排水トラップ）が詰まっていませんか?	市販の台所用ラバーカップ、または真空式パイプクリーナーを試してみるか、お買い上げの販売店にご相談ください。
水漏れする。	水漏れ箇所はディスポーザ本体、あるいは排水管部ですか?	お買い上げの販売店にご相談ください。
電源プラグの漏電表示ランプが頻繁に点灯して切れる。あるいは、電源ブレーカーが頻繁に切れる。	漏電している可能性がありますので、ブレーカーを切った状態でお買い上げの販売店にすぐに検査を依頼してください。	

故障かな?!と思ったら

自動給水タイプの場合

症　状	チェック内容	処　置
ディスポーザが動かない。	異物をかみ込んでいるか、モーターの過熱で過負荷保護装置が作動していませんか?	異物を取り除いて、過負荷保護装置のリセットボタンを押してください。 ➡ 21 ～ 23 ページ参照
	停電していませんか?	停電解除までお待ちください。
	電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグを専用コンセントに差し込んでください。
	電源プラグの漏電表示ランプが点灯していませんか?	電源プラグのリセットボタンを押してください。 ➡ 19 ページ参照
	他の場所で水を多量に使用していませんか?	他の場所での多量の水の使用が終了するまでお待ちください。
	給水管の止水栓が閉まっていませんか?	給水管の止水栓を開けてください。
	断水していませんか?	断水解除までお待ちください。
	生ごみを詰め込みすぎていませんか?	生ごみを小分けにして処理してください。
運転中、音や振動が大きい。	スプーン、つまようじ、ねじ、プラスチック片などの異物が混入していませんか?	異物を取り除いてください。 ➡ 20 ～ 21 ページ参照
	回転板上のハンマーに何かが挟まって固着していませんか?	固着している原因を取り除き、自由に360度回転することを確認してください。
	シンクに水をはった状態で、流しながら運転していませんか?	異常振動を起こし、故障の原因になりますので、シンク内の水を流してから運転してください。
生ごみが粉砕されずに残る。	粉砕できない生ごみまたは粉砕に時間のかかる生ごみが投入されていませんか?	もう一度運転しても、ディスポーザ内に生ごみが残る場合は、異物として取り除いてください。 ➡ 20 ～ 21 ページ参照
投入口から水があふれる。	ディスポーザ内に生ごみがたまっていませんか?	粉砕運転を行い、生ごみを処理してください。 ➡ 14 ～ 15 ページ参照
	ディスポーザ内に生ごみがたまっていない場合は、排水管部（排水トラップ）が詰まっていませんか?	市販の台所用ラバーカップ、または真空式パイプクリーナーを試してみるか、お買い上げの販売店にご相談ください。
水漏れする。	水漏れ箇所はディスポーザ本体、あるいは排水管部ですか?	お買い上げの販売店にご相談ください。
電源プラグの漏電表示ランプが頻繁に点灯して切れる。あるいは、電源ブレーカーが頻繁に切れる。	漏電している可能性がありますので、ブレーカーを切った状態でお買い上げの販売店にすぐに検査を依頼してください。	

仕様

型式	AC115MK2
設置場所	流し台シンク下部
使用可能水温	0 ～ 60℃　（氷結なきこと）
使用周囲湿度	90％ RH 以下
推奨水量	8 リットル / 分
使用電源	AC 100V　50/60Hz アース付き専用コンセントをキャビネット内に設置
シンク接続口径	115mm, 180mm（オプション）
投入口径	85mm
粉砕室容量	1 リットル、ステンレススチール製
粉砕方式	自動反転ステンレス回転歯十固定歯
モーター形式	分相始動誘導電動機　極数：4 極
出力	300W（0.4 HP）
定格消費電力	290/210W（標準生ごみ粉砕中平均） 待機電力（運転停止時）：1W
安全装置	漏電遮断器付き電源プラグ
	過負荷保護装置
	投入口開閉検知装置（ふたスイッチの磁力検出）
電源コードの長さ	約 1.0 m
製品重量	9.1kg

※ 仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

● お問い合わせ

● 本製品のトラブルや不明点などは、販売店または施工業者にお問い合わせください。

➡ 付属の保証書に捺印された販売店または施工業者まで、ご連絡ください。

※ 保証書にある保証期間を過ぎた場合は、有償修理となります。

● 販売店または施工業者でも解決できない場合は、下記にお問い合わせください。

日本エマソン株式会社　InSinkErator 事業部
〒 105-0022　東京都港区海岸１－１６－１
ニューピア竹芝サウスタワービル 7F
TEL : 0120-530-473
URL : http://www.insinkerator.jp

75485 Rev.A (05/09)